

高知パルプ生コン事件 40 周年記念シンポジウム

高知市を水辺の街へ

来る 6 月 9 日は高知パルプ生コン事件から 40 年目となります。当時の赤茶けた浦戸湾はしっかりとよみがえり、希少種のアカメがどこよりも多く生息する海となりました。水辺にはトビハゼやシオマネキが生息し、その周辺には幕末・明治の史跡も多くあります。このよみがえった自然と史跡を生かした街づくりを考えましょう。

日時 2011 年 6 月 5 日(日曜日) 13 時～17 時

場所 サウスブリーズホテル

菜園場電停より南に、堀川沿いに歩いて 3 分。駐車場はありません。

参加料 無料

プログラム

あいさつ 山崎広一郎 (浦戸湾を守る会相談役)

生コン事件をふりかえる 田中正晴 (浦戸湾を守る会事務局長)

基調講演

町田吉彦 (高知大学名誉教授) 「希少種の宝庫、浦戸湾」

陣内秀信 (法政大学教授) 「川を活かし、水に親しむまちづくり」

パネルディスカッション 「自然と歴史で街づくり」

陣内秀信 (法政大学教授) アドバイザー

町田吉彦 (高知大学名誉教授) 「希少種の宝庫、浦戸湾」

吉澤文治郎 (ひまわり乳業社長) 「高知の街を想う、愛する」

山本良喜 (はりまや橋商店街振興組合事務局長) 「はりまや橋商店街の取り組み」

林建紀 (菜園場商店街振興組合理事) 「半平太に魅せられて」

司会 田中正晴

基調講演者紹介

町田先生は水生動物学がご専門で、近年浦戸湾の生物を研究されて論文を発表され、その中で浦戸湾の回復宣言をされました。

陣内先生はベニスなどの地中海世界の都市を研究されてこられました。「水の都市」として東京を世界の他の水の都市と比べながら、21世紀の水の都市として再生させるためのシナリオを考える研究を行っておられます。

主催 浦戸湾を守る会

連絡先 高知市若松町 10-46 高生連気付 TEL088-880-0701

※このシンポジウムは(財)高知新聞厚生文化事業団の助成事業で開催されます